

事業所名

日置地域福祉事業所あゆみ・放課後等デイサービス
チャイルドスペースあゆみ

支援プログラム

作成日

令和 7年

1 月

18 日

法人（事業所）理念		日置あゆみの倫理規範 ・お様が日置市の大自然の中で、のびのびと、個性豊かにそれぞれに自分探しに繋がるような支援をします。 ・持てる力を発揮し、地域社会の中で可能な限り自立した生活が送れることを目標に関係機関、ご家族と連携を図りながら地域社会との繋がりを深めていきます。 ・その家族の「手助けと安心のお家」となるように支援します。 ・職員は療育の場として倫理観をもって関わります。							
支援方針		個の特性を理解しながら将来の自立に向けた日常生活動作を身に付けられるように支援します。 1. 基本的な生活習慣を支援します。 2. 集団生活適応能力の向上を支援します。 3. 特性（個性）に応じた関りをします。 4. 心と身体の疲れを癒す時間、空間を設けます。							
営業時間		午前	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
小学校1年生から高校3年生までの 支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	挨拶・着替え・片付け（整理整頓）・手洗い・うがい・口腔ケア ・登下校や日常の挨拶をすることや、帰ってきたら手洗い、うがいの後、普段着に着替えて、学習（宿題）をした後はかたづけをし整理整頓を習慣づけし、おやつタイムの後は歯磨きをするなど何でもない通常の日々を気持ちよく過ごせるように支援することで、成長過程でいつの間にか身につくように支援します ※<健康状態の確認>表情をチェックし小さなサインや異変に気づく、意思表示の苦手な子には声かけをし睡眠、食事、排泄等基本的な生活習慣の確認							
	運動・感覚	ボール・公園・遊具・縄跳び（長縄） ・室内でできる軽度の運動遊び、戸外活動でのサッカー、遊具遊び、縄跳びをする等、戸外の活動では季節の寒暖差を意識して衣服の調整や水分補給などの必要性を知ることで普段の日常生活の中で季節感を知り、体を動かすことで体幹を整えて心身ともに成長を促す支援をします。 <視覚、聴覚、触覚>感覚を活用した遊び、活動を工夫する ※							
	認知・行動	オセロ・人生ゲーム・将棋・レゴブロック・折り紙・手芸・五感を使う ・勝敗のゲームでは負けることもあることを知り、勝った時は相手の悔しい気持ちなどに思いをはせるなど、相手への気づかいを覚えること、又 制作（ブロック、折り紙、手芸）ではよく考えながら工夫をし完成させて、「できたあ〜」を実感し、考えながら行動することを実践させる支援をします。 ※<空間、時間、数字の概念の形成>ブロック等の立体の造形物を使った創作活動、音楽を聴いたり歌を歌う等五感を刺激して認知機能を促す。							
	言語 コミュニケーション	適切な言葉使い・相応しくない言葉使い・相手に伝える言葉使い 小1～高3までの異年齢の中で、相手の思い、相手の気持ちを考えながら、場面に応じた言葉使いをしているか注視して時には子供同士の会話に介入しながら相手に伝える言葉を選びながら使えるように楽しく会話してコミュニケーション能力をつける支援をします。							
	人間関係 社会性	ルール決まりの理解・協力・助け合い・話し合い ・小集団の中で、自分の立ち位置を知り、お互いに教え合い、協力しながら地域の資源（運動公園、体育館、図書館、公民館等）を活用して色々な場所には決まりがありルールがあることを知り、理解し社会に順応できるように支援します。							
家族支援		保護者には日々の活動の様子を連絡帳（サービス提供記録）でお知らせし、送迎時にも、本児に対する子育ての困りごと、悩み、迷いなどが有られる時はいつでも相談にのり窓口を開けています。			移行支援		関係機関（相談事業所、学校、学童クラブ等）との連携を図り、情報交換、共有し統一感を高めながら支援しています。		
地域支援・地域連携		地元の自治会に入り地域の行事などには積極的に参加しています。又地域食堂も年に数回 開催したり、学童クラブとの連携をとっています。			職員の質の向上		組織自社開催の児童発達支援、放課後等デイサービス研修、虐待防止研修、身体拘束研修、相談苦情受付研修、コンプライアンス学習会などには積極的に参加して学びや知識を深める体制をとっています。		
主な行事等		・季節の行事（伝統行事の伝承のお話会、節分や七夕、妙円寺参りのお話会等） ・食育の為に畑を作る（おやつ用の野菜等） ・クッキング（おやつづくり）							